



RAKUWA
lecture of health

第73回 らくわ健康教室 介護版

2011年10月19日



ともに支え、ともに生きる

～ 地域社会とグループホーム ～

介護支援部 介護事業部

地域密着型サービス・新サービス統括 統括長 田邊 幸司



子どもたちのために、未来へ…

洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院

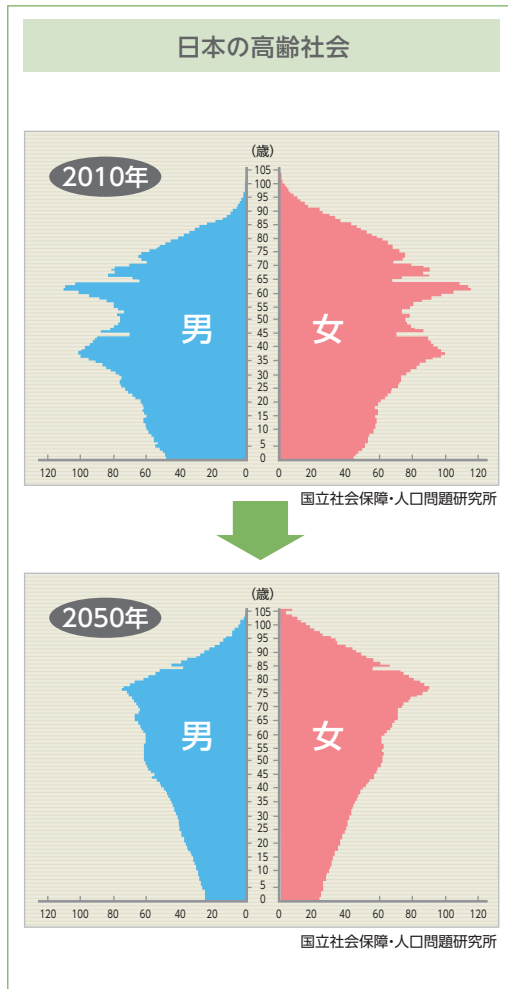


RAKUWA
lecture of health

ともに支え、ともに生きる ～ 地域社会とグループホーム ～

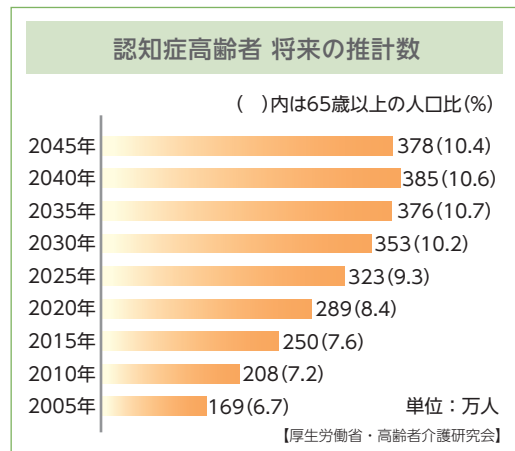
認知症をとりまく社会

日本はますます少子高齢化が進んでおり、2050年には、3人に1人が高齢者という時代を迎えようとしています。



現在も、老・老介護、病・病介護が社会的な問題となっており、認知症の高齢者の方が、認知症の配偶者などを介護している事例もあります。

現在、認知症の高齢者は約220万人おり、10年後には約300万人になると推計されています。



グループホームって？

認知症の方が利用できるサービスには、

- 在宅サービス
- 施設サービス
- 地域密着型サービス

があり、地域密着型サービスのひとつである「**認知症対応型共同生活介護**」が、いわゆる「グループホーム」です。

地域密着型サービスの種類

- ① 夜間対応型訪問介護
- ② 認知症対応型通所介護
- ③ 小規模多機能型居宅介護
- ④ **認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)**
- ⑤ 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護
- ⑥ 地域密着型特定施設入居者介護



グループホームは、家庭的な環境と、地域住民との交流のもとで、5～9人の少人数で、スタッフと共同生活をするところです。利用者さまの有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、24時間365日の生活支援を行います。

入所条件

- ① 介護が必要な認知症と診断された方
- ② 要支援2・要介護1～要介護5の方
- ③ 施設の位置する市町村の被保険者

▶ 利用料 (京都市内)
平均で約17～18万円 (月額)

グループホームでの生活

◆グループホームの中

<リビング>

- 家庭的な雰囲気
- お互いが距離をもって過ごす場所がある
- ちょっとした空間を生かして居場所がつかれる
- 共有空間であっても、利用者さまがいつでも日常品を使うことができる

<個性ある居室>

- なじみのある家具や生活用品、装飾品などを居室に持ち込み、その人らしく過ごせる (なかには、お仏壇を置いている方も)
- ADL (日常生活動作) に合わせ、転倒などの事故が起きないような環境

◆五感への働きかけ

家事などの音や食事の匂い・味、手先の感覚など、五感に働きかけ、体に残る、

- 料理など、習慣として身につけたもの
- 趣味や得意なこと
- あいさつや礼儀作法

などの記憶を刺激します。

また、建物に閉じこもらず、旅行や行事など、外出の機会を設け、ご本人が行きたい場所へ出かける支援を積極的に行っています。

◆スタッフが心がけていること

「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」

一人ひとりのできることを見つけ、その人に合った活躍の場を暮らしのなかでつくり、その人のペースで一緒に行っています。

「共に支え合う関係」

利用者さまの得意分野で力を発揮してもらい、「お互いさま」という気持ちや、「感謝する」という関係性を築いています。

「共に支え、共に生きる」ことが、

洛和会ヘルスケアシステムのグループホームの理念であり、私たちの目標でもあります。



地域との連携

運営推進会議を2カ月に1回行い、

- 地域行事への参加
- 地域の役割への参加
- 地域の子どもたちとの交流
- 地域ボランティアの受け入れを行っています。

地域で認知症の方を支えるために

認知症の方とそのご家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつくっていく

- ① キャラバン・メイトの養成※
▶ 2009年度目標：100万人
- ② 認知症サポーターの養成
▶ 2014年度目標：400万人

- ◎ 認知症サポーター
 - ・ 全国での現状：2,524,513人
 - ・ 京都市での現状：28,920人
- ※ 2014年度末までには5万人の養成を目標としている

※キャラバン・メイトとは
認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務める人のこと。

グループホームの問題と課題

- 利用者さまのADLの低下および認知症の重度化
- 職員の身体的ケア・認知症ケア両方のスキルアップの必要性の向上
- 看取りに関する事業所側の体制の問題や医療・看護の協力体制など

グループホームを選ぶときのポイント

- ホーム内の雰囲気は明るく、活気があるか
- 利用者さまは穏やかに楽しく生活しているか
- 職員は利用者さまとともに、生き生きと働いているか
- 家族や外部からの訪問を歓迎しているか
- 医療と連携がとれているか（看取り対応はできるか）
- 外出の機会があるか

情報の公表

京都府 介護サービス情報
公表システム

URL

<http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=26>

各事業所の基本情報(住所・法人など)ほか、研修の取り組みなどが検索できます。

外部評価結果

介護保険地域密着型サービス
外部評価情報

URL

<http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/aHyokaTop?OpenAgent>

評価機関の担当者が第三者評価を行った結果を見ることができます。

実際に職員の対応を見るのが一番です。ぜひ、入居希望の方に合ったグループホームを選んでください。